

2019年 第38回全国高校生建築製図コンクール結果報告

製図コンクール運営委員長 森嶋 真一

第38回全国高校生建築製図コンクールには、東日本建築教育研究会の加盟校および加盟校以外の先生方から、校務ご多忙にもかかわらず絶大なるご協力を頂きました事を厚くお礼申しあげます。

[I] 応募状況

1 応募校数

応募校数		全日制		定時制		加盟校				加盟校以外			
						全日制		定時制		全日制		定時制	
2019	H30	2019	H30	2019	H30								
48校	49校	44校	44校	4校	5校	38校	39校	4校	5校	6校	5校	0校	0校

2 応募作品数

課題名	加盟校別	回数	学校数・作品数		全日制・作品数		定時制・作品数	
課題1	加盟校	2019	36校	88点	32校	81点	4校	7点
		H30	41校	107点	36校	97点	5校	10点
	加盟校以外	2019	6校	15点	6校	15点	0校	0点
		H30	5校	13点	5校	13点	0校	0点
課題2	加盟校	2019	14校	35点	13校	33点	1校	2点
		H30	11校	25点	11校	25点	0校	0点
	加盟校以外	2019	1校	3点	1校	3点	0校	0点
		H30	1校	3点	1校	3点	0校	0点
課題3	加盟校	2019	19校	44点	19校	44点	0校	0点
		H30	17校	36点	17校	36点	0校	0点
	加盟校以外	2019	1校	2点	1校	2点	0校	0点
		H30	1校	3点	1校	3点	0校	0点
課題4	加盟校	2019	7校	15点	7校	15点	0校	0点
		H30	8校	14点	8校	14点	0校	0点
	加盟校以外	2019	1校	3点	1校	3点	0校	0点
		H30	1校	3点	1校	3点	0校	0点
課題5	加盟校	2019	5校	9点	5校	9点	0校	0点
		H30	5校	6点	5校	6点	0校	0点
	加盟校以外	2019	1校	3点	1校	3点	0校	0点
		H30	1校	3点	1校	3点	0校	0点
応募校計		2019	217点 (加盟校 191点・加盟校以外 26点)					
		H30	213点 (加盟校 188点・加盟校以外 25点)					

3 校内作品審査数の総計

		課題 1	課題 2	課題 3	課題 4	課題 5
加盟校	2019	1,262点	393点	514点	38点	43点
	H30	1,411点	320点	422点	23点	7点
加盟校 以外	2019	209点	5点	2点	3点	3点
	H30	91点	3点	3点	4点	3点
応募校計	2019	1,471点	398点	516点	41点	46点
	H30	1,502点	323点	425点	27点	10点

[Ⅱ] 入賞者

	賞	学校名	科名学年	生徒氏名
課題 1 : 軒先マワリ詳細図				
1	金賞	神奈川県立神奈川工業高等学校 定時制	建設科 2年	八木 恒星
2	銀賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科 1年	平原 小紘
3	銀賞	山梨県立富士北稜高等学校	建築デザイン系列 2年次	渡邊 蒼生
4	銀賞	群馬県立前橋工業高等学校	建築科 1年	齋藤 萌伽
5	銅賞	長野県池田工業高等学校	建築科 2年	後藤 彪雅
6	銅賞	山梨県立富士北稜高等学校	建築デザイン系列 2年次	鈴木 秀岳
7	入賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築・土木科 1年	西村 捷英
8	入賞	愛知県立半田工業高等学校	建築・土木科 1年	荒木 啓克
9	入賞	愛知県立佐織工業高等学校	建築科 1年	水野 絢心
10	入賞	群馬県立前橋工業高等学校 定時制	建築科 1年	関口 由奈
11	入賞	神奈川県立神奈川工業高等学校 定時制	建設科 2年	渡辺 佳夏
課題 2 : 木造平家建専用住宅				
1	銀賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科 2年	永久保 温貴
2	銅賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科 2年	白木 つぐみ
3	銅賞	名古屋市立工芸高等学校	建築システム科 2年	大原 仙雅
4	銅賞	岐阜県立中津川工業高等学校	建設工学科 2年	松尾 まりん
5	入賞	愛知県立碧南工業高等学校	建築科 2年	山崎 正裕
6	入賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科 2年	見田 祐希
7	入賞	群馬県立前橋工業高等学校 定時制	建築科 2年	柳原 竜馬
課題 3 : 木造 2階建専用住宅				
1	銀賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科 3年	田澤 杏子
2	銅賞	宮城県石巻工業高等学校	建築科 2年	保原 愛奈
3	銅賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科 3年	林 茉莉那
4	銅賞	岐阜県立岐南工業高等学校	建築科 3年	長屋 百美
5	入賞	宮城県石巻工業高等学校	建築科 2年	阿部 拓実
6	入賞	新潟県立新潟県央工業高等学校	建築工学科 3年	小菅 悠斗
7	入賞	新潟県立新潟県央工業高等学校	建築工学科 3年	田崎 健太
8	入賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科 3年	蛭澤 舞友

9	入賞	宮城県石巻工業高等学校	建築科 2 年	高橋 依吹
10	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科 3 年	名取 あかり
11	入賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科 3 年	服部 真央
12	入賞	松山聖陵高等学校	建築科 3 年	濱邊 麻帆
課題 4 : 木造平家建専用住宅 (CAD 製図)				
1	金賞	松山聖陵高等学校	建築科 3 年	菅原 瑠希
2	銀賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科 3 年	颯田 堅斗
3	銅賞	愛知県立半田工業高等学校	建築科 3 年	大橋 卓真
4	銅賞	岐阜県立岐南工業高等学校	建築科 2 年	松尾 真也
5	銅賞	愛知県立半田工業高等学校	建築科 3 年	五十嵐 建
6	入賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科 2 年	松尾 洸輝
7	入賞	愛知県立半田工業高等学校	建築科 3 年	岩原 龍夜
8	入賞	松山聖陵高等学校	建築科 2 年	高橋 陸
9	入賞	栃木県立真岡工業高等学校	建設科 2 年	小崎 沙月
課題 5 : 木造 2 階建専用住宅 (プレゼンテーション作品)				
1	金賞	松山聖陵高等学校	建築科 3 年	宇都宮 紗帆
2	銀賞	松山聖陵高等学校	建築科 3 年	黒田 竣平
3	銅賞	愛知県立一宮工業高等学校	建築科 3 年	伊藤 勇輝
4	入賞	宮城県石巻工業高等学校	建築科 3 年	今野 楓雅
5	入賞	愛知県立佐織工業高等学校	建築科 3 年	清水 大揮
6	入賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科 3 年	水野 聖巴
7	入賞	宮城県石巻工業高等学校	建築科 3 年	山内 悠一斗

[Ⅲ] 審査

1 賞の選出

- (1) 各課題最高作品を金賞とし、順次銀賞銅賞入賞とする。
- (2) 各課題定時制課程参加作品から入賞以上を選出する。

2 審査方法

(1) 一次審査

- ア 審査は委員全員で行う。
- イ 原図を使用する。
- ウ 各課題参加数の1/5程度(最大20点程度)を目安に絞り、入賞作品の対象とする。
- エ 審査基準は、各課題の観点に従う。
- オ 作品を相対的に比較する。

(2) 二次審査

- ア 審査は委員全員で行う。
- イ 表題欄をカットする。
- ウ 複写図面を使用し、チェックを書き込む。
- エ 入賞作品以外の作品で再度入賞以上に該当するものがないか確認する。

(3) 最終決定

- ア 最終決定を投票で行う。

3 課題別審査の観点

(1) 課題1「軒先マワリ詳細図」

注意：最新版の教科書を用いているか。

- ア 図が正確に描かれているか。(部材の大きさや厚み・金物等の形状・部材相互の距離等)
- イ 明瞭な図であるか。(線の使い分け・線の始端から終端までが均一な太さ、濃さであるか)
- ウ 文字や数字は明瞭で正確であるか。(抜けている、大きすぎる、小さすぎる、形状がバラバラ等)
- エ その他

松丸太に関して

- ・太鼓落しを表現する曲線はフリーハンドより定規使用の方が良い。
- ※ただし曲線がフリーハンドで描かれていても失格ではない。

野縁に関して

- ・位置は軒桁中心から測られているか。

天井に関して

- ・位置が製図例2-6に基づいているか。

線の使い方に関して

- ・下書き線が濃すぎないか。
- ・仕上げ線(断面線)が極端に太すぎないか。

(2) 課題2「木造平家建専用住宅」

- ア 敷地の配置、外構計画に工夫があるか。
- イ 平面図は正確に描かれているか。(教科書第3章に準じているか)
- ウ 立面図に工夫があるか。(窓の形状や種類、位置等が平面図と異なっていないか)
- エ 断面図に工夫があるか。(屋根形状を生かした内部空間であるか)

- オ 屋根の形状に工夫があるか。（機能を充たす屋根の形状であるか）
- カ 図面相互に違いがないか。
- キ 明瞭な図であるか。（線の使い分けが正しいか）
- ク 製図規約を重視しているか。
- ケ その他

配置図兼平面図に関して

- ・道路境界線，隣地境界線と建物の距離が抜けていないか。
- ・隣地境界線を実線で描く等，線の使い方を間違えていないか。
- ・床の仕上げを表現していないか。
- ・ロフトを計画した場合はそれを描いているか。

立面図に関して

- ・全体的なバランスが良いか。

断面図に関して

- ・平面図に記された切断線の位置との違いがないか。
- ・ロフトを計画した場合はそれを描いているか。
- ・ロフトの天井が極端に高くないか。

屋根伏図に関して

- ・水勾配や寸法が記入されているか。
- ・屋根仕上げに用いた材料名称が描かれているか。
- ・断面線の表示がされているか。

(3) 課題3「木造2階建専用住宅」

- ア 計画性を重視する。
- イ 配置・平面・立面・断面・外構の計画に工夫があり機能的であるか。
- ウ 構造的に無理がないか。
- エ 製図規約に配慮しているか。
- オ その他

設計主旨に関して

- ・主旨と計画に違いがないか。

配置図兼平面図に関して

- ・道路境界線，隣地境界線と建物の距離が抜けていないか。
- ・家族構成に対して，所要室や各室の面積に配慮しているか。
- ・将来的に高齢者に配慮した計画であるか。
- ・外構計画において高低差に配慮しているか。
- ・車と駐車スペースの大きさや表記方法に違いがないか。
- ・平面図に家具が記入されているか。
- ・平面図に柱や通し柱が抜けていないか。
- ・平面図に記された階段の段数は正確か。
- ・平面図に記された階段には，手すりを設けているか。

立面図に関して

- ・平面図との違いがないか。
- ・全体的なバランスが良いか。

断面図に関して

- ・切断位置が開口部を含む位置であるか。

- ・形状が不適切でないか。（異常に高すぎる，低すぎる）
- ・高さに関する寸法の記入があるか。

（４）課題４「木造平家建専用住宅」（ＣＡＤ製図）

注意：２枚提出されているか。（１枚しか提出されていない場合は失格とする）

- ア 敷地の形状や配置・外構計画に工夫があるか。
- イ 平面図は正確に描かれているか。（教科書第３章に準じているか）
- ウ 立面図に工夫があるか。（窓の形状や種類，位置等が平面図と異なっていないか）
- エ 断面図に工夫があるか。（屋根形状を生かした内部空間であるか）
- オ 屋根の形状に工夫があるか。（機能を充たす屋根の形状であるか）
- カ 図面相互に食い違いがないか。
- キ 明瞭な図であるか。（線の使い分けが正しいか）
- ク 製図規約を重視しているか。
- ケ その他
 - ・ロフトを計画した場合は，それを平面図や断面図等に描いているか。
 - ・手書き表現で描かれているか。（ＣＡＤ特有の表現のままでないか）

（５）課題５「木造２階建専用住宅」（プレゼンテーション作品）

注意：２枚提出されているか。（１枚しか提出されていない場合は失格とする）

- ア プレゼンテーション・表現を重視する。（プレゼンテーションと作りだされている作品が一致しているか）
 - ・パース，模型，説明，着色等で判断する。
- イ 製図規約については重視しない。
- ウ その他
 - ・計画や表現はオリジナリティがあるか。
 - ・各図面間での整合性はあるか。
 - ・縮尺については重視しない。
 - ・表面に氏名等を記入しない。

[IV] 審査講評

課題1 軒先マワリ詳細図

金賞図面は、線の使い分けや強弱がしっかりとしており、文字のバランスや作図の正確性のどれもが優れていて素晴らしい作品でした。特に、文字が美しく揃って書けており、大変見栄えのある図面でした。

金賞以外の図面についても、丁寧かつ、美しく描かれている作品が見受けられたが、単純な1/50の目盛の読み間違えなのか、寸法がとれておらず、惜しい作品がありました。

【アドバイス】

次年度は、基本的なスケールの目盛の読み方などに注意し、正確性のある図面を期待します。

課題2 木造平家建専用住宅

金賞図面は、ありませんでした。

金賞以外の図面についても、複雑な屋根を組み合わせて工夫した作品や線のメリハリがはっきりしたよい作品が見受けられました。しかし、漢字（文字）の間違いや寸法値の記載漏れ、真壁併用壁の線の使い分けなど、明らかなミスが多く作図は優れていても金賞や入賞にはならない作品があり大変残念でした。

【アドバイス】

次年度は、基礎基本に立ち戻り、作図力や正確性を求めます。独自課題ではないため、取組みやすいのではないのでしょうか。

課題3 木造2階建専用住宅

金賞図面は、ありませんでした。

金賞以外の図面についても、和の空間を工夫したり、趣味を生かしたつくりや細かい表現がきれいに描けていたり大変考えられている図面がありました。その一方で、立面図や断面図が乏しく、整合性のない図面があり、もう少し再考すれば、もっとよい作品になっていただろうと思う作品が多く見受けられました。

【アドバイス】

次年度は、平面図だけでなく立面図や断面図まで、全てにこだわりのある作品を期待します。

課題4 木造平家建専用住宅（CAD製図）

金賞図面は、沖縄風という素材を考えて作図され、CADの特性を活かして細かく作図している作品でした。

金賞以外の図面についても、立面図や屋根伏図を工夫し、努力した後が見受けられました。また、屋根形状だけでなく、庭園計画を考えられた作品もありました。

【アドバイス】

次年度は、課題2の平面図が教科書の製図例になるため、工夫を凝らした作品を期待します。

課題5 木造2階建専用住宅（プレゼンテーション作品）

金賞図面は、全体のレイアウトがよく、鳥瞰図を取り入れ工夫し、より一層想像できるプレゼンテーション作品でした。また、日本の四季を意識した構成になっており、色彩への配慮もよく、わかりやすく見応えのある作品でした。

金賞以外の図面についても、レイアウトを工夫したりしているが、着色にももう少し力を入れればもっとクオリティがあがるような図面もありました。

【アドバイス】

次年度は、自分のテーマに沿ったこだわりの強い、見ごたえのある、色彩豊かなプレゼンテーション作品を期待します。

[V] 令和2年度に向けて

- 1 課題1 軒先マワリ詳細図
2019年 新課程版教科書発刊に伴う、製図例の変更。
令和2年度 例年通りとする。

- 2 課題2 木造平家建専用住宅
2019年 新課程版教科書発刊に伴う、製図例の変更。
令和2年度 製図例の変更。

- 3 課題3 木造2階建専用住宅
2019年 法規・構造に配慮した、個性的な作品を期待する。
令和2年度 例年通りとする。

- 4 課題4 木造平家建専用住宅（CAD製図）
2019年 課題2を手書きの表現で作図するCAD製図。
令和2年度 課題2に変更に伴い、製図例の変更。

- 5 課題5 木造2階建専用住宅（プレゼンテーション作品）
2019年 プレゼンテーションを重視した作品。家族構成は各自で設定する。
令和2年度 例年通りとするが、失格図面防止の為、変更。
学校名等を記載する用紙を右下裏側に貼付。

- 6 共通事項 課題1～課題4の表題欄に課題番号を記入する。

今年度も審査講評を参考にさせていただき、ご応募くださるようお願い申し上げます。なお、ホームページに各課題の金賞作品を記載しております。

製図コンクール運営委員

佐藤 康雄（神奈川工定）	高野 史晃（真岡工）	ト部寿々子（市川工）
（製図分科会）村井 和幸（新潟県央工）	笹崎 ひろみ（墨田工）	中曽根 康（高崎工）
（計画分科会）荒木 宏道（館林商工）	畠山 弘幸（石巻工）	田村 雄志（川崎総合科学）
（法規分科会）佐藤 裕二（葛西工）	萱沼 俊一（白石工）	森嶋 真一（甲府工）
（構造分科会）菅谷 太郎（川越工）	松原 昌忠（田無工）	
（施工分科会）吉村 公利（大宮工）	首代 昌紀（東総工）	

令和2年4月1日
製図コンクール運営委員長
森嶋 真一